



平成21年1月29日

各 位

会社名 クラリオン株式会社  
 代表者名 取締役社長 泉 龍彦  
 (コード番号 6796 東証・大証各第一部)  
 問合せ先  
 責任者役職名 常務執行役員 広報室担当  
 氏 名 川本 英利  
 T E L (048) 601-3700 (代表)

通期業績予想の修正、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し  
 並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年10月27日に公表いたしました平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想及び期末配当予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

また、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しにつきまして、お知らせします。

## 記

## 1. 通期業績予想数値の修正

(1) 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	216,000	1,300	0	100	0円35銭
今回発表予想 (B)	185,000	△13,000	△15,000	△22,000	△77円97銭
増減額 (B-A)	△31,000	△14,300	△15,000	△22,100	—
増減率 (%)	△14.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	246,806	5,465	4,986	1,378	4円88銭

(2) 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	119,000	1,000	0	100	0円35銭
今回発表予想 (B)	98,000	△6,500	△8,000	△22,000	△77円97銭
増減額 (B-A)	△21,000	△7,500	△8,000	△22,100	—
増減率 (%)	△17.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	139,630	1,903	1,426	△186	△0円66銭

## 2. 特別損失の計上について（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

### （1）関係会社株式評価損

当社100%出資の子会社である株式会社ザナヴィ・インフォマティクス（以下、ザナヴィ）及びClarion Europa GmbH（欧州子会社）における大幅な業績悪化により、個別にて関係会社株式評価損の見込額77億円を計上するものであります。

### （2）子会社に対する債権放棄

個別にてザナヴィに対する債権放棄損失として債務超過見込額25億円を計上するものであります。

#### ①ザナヴィの概要

- i. 商号 株式会社ザナヴィ・インフォマティクス
- ii. 所在地 神奈川県座間市広野台二丁目6番35号
- iii. 代表者 取締役社長 沼田 修
- iv. 資本金 2,500百万円
- v. 事業の内容 車載情報通信機器の開発・生産・販売

#### ②債権放棄に至った経緯

当社の連結子会社であるザナヴィは、業績悪化により平成21年3月期末に債務超過となる可能性があるため、財務状態の改善をはかるために、当社が保有する債権の一部を放棄するものであります。

#### ③放棄する債権の種類及び金額

- i. 債権の種類 貸付金債権等
- ii. 債権放棄見込額 2,500百万円
- iii. 債権放棄実行時期 平成21年3月31日
- iv. 純資産に対する割合 最近事業年度の末日（平成20年3月31日）の純資産（34,264百万円）に対する割合7.3%

\*（1）（2）につきましては、連結業績に与える影響はありません。

### （3）人員削減等の合理化

構造改革の実施にともないグループ要員の適正化をはかり、特に平成21年3月末までにグループ全体で当初計画比約2,000名の人員削減を計画しております。これらは、国内外の当社グループ会社で計画しておりますが、国内においては選択定年制度の活用等により退職金加算支給等が見込まれるため、連結にて25億円、個別にて9億円を特別損失として計上するものであります。

なお、特別損失の他に、営業外費用にも同項目の費用を4億円程度見込んでおり、人員削減等の合理化費用合計額は、連結にて29億円、個別にて14億円を見込んでおります。

## 3. 繰延税金資産の取崩しについて（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

当期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産の回収可能性を慎重に見直した結果、回収が見込めない部分について取崩すこととし、法人税等調整額（税金費用）を連結にて42億円、個別にて29億円、当第3四半期において計上するものであります。

## 4. 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想	—	2.00	2.00
今回修正予想	—	0.00	0.00
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	—	2.00	2.00

## 5. 修正の理由

米国金融危機に端を発する世界規模での経済情勢の混乱により、当社グループを取り巻く経営環境は予想を遥かに超える厳しい状況になっております。特に、当第3四半期に入り、売上高は国内外OEM（相手先ブランドによる生産）市場を中心に大幅な減収となり、これに伴う操業度の悪化、変動費低減等の合理化の未達等により、連結、個別共に各段階利益は大幅な減益となる見込みです。

また、関係会社株式評価損、債権放棄損失、人員削減費用等の特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しによる税金費用を計上する見込みであり、連結及び個別業績予想を上記のとおり修正いたします。

利益分配につきましては、経営基盤の強化と市場競争力の維持・強化をはかるために必要な内部留保を確保しながら、安定的かつ継続的な利益分配を実行することを基本方針として、連結業績や財務状況等を総合的に勘案して決定することとしておりますが、当期の業績を勘案し、誠に遺憾ではあります平成21年3月期の期末配当予想を無配とさせていただきます。

以 上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。